

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	S-Veranda			
○保護者評価実施期間	R8年2月16日		～	R8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	R8年2月16日		～	R8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月3日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多機能施設と隣接している為、「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」をより施設全体で考えやすい。	移行に関わることを一例にとると、就労の部門を連携して就労体験を支援に加えている。	次年度も実施
2	保護者と意見交換する場を数多く開催している。	保護者サロンや相談きっかけ参加イベントを122回実施した。	次年度も実施
3	他施設も含めた研修会を実施している。	五領域や保護者支援の研修会を他施設も含めて4回実施した。	次年度も実施

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者との情報共有の弱さがある。	送迎時や電話、月に1回のお知らせ紙面で情報共有をしていたが、様子がわかりにくいという意見がある為、改善を行う。	ICTを活用したタイムリーな情報共有に切り替えていく。
2	支援計画に沿った支援が充分ではない。	支援計画の情報共有と進捗管理の不十分さがある。	・支援前ミーティングの実施。 ・保護者への支援計画説明を充分に行う。
3	本来強みである地域とのつながりが弱い。	屋内での支援が多くなっている為、地域と関わる場面が少なくなっている。	より外に出ての活動と人との関わりの場面を多く設定していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		S-Veranda					公表日	令和8年3月6日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		スペースは確保されている。	発達支援の用具と手法をより明確にしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		Share金沢全体で見守りができるように、各部署とも連携して対応していく。	状況によって必要配置数だけでは足りない時は他部署からの応援も依頼する。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>	何をやる部屋が分けている。	その時の利用児童に合わせて絵カードなどを使用し、児童がストレスなく過ごせるように改良する。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		中庭遊具やプレイルーム、静養室など、児童の活動や様子に合わせて対応できるようにしている。	継続して環境維持を行う。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		部屋はいくつかあるので状況に応じて工夫している。	パーティション等を使い、ひとりになりたい空間ができるよう工夫していく。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		定期的ケース会議や児童会議を行い、スタッフ一人ひとりの支援内容を振り返り、評価して支援内容に繋げている。	会議では5W1Hを明確にして取り組む。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		部署の会議と多部署合同の会議を月3回開催し確認しあっている。	会議では5W1Hを明確にして取り組む。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		部署の会議と多部署合同の会議を月3回開催し確認しあっている。	会議では5W1Hを明確にして取り組む。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に1回監査指導を受けたり、外部の講師に見ていただくなどして改善につなげている。	組織的に外部評価制度を検討する。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		学習会やケース会議を毎月行っており、スタッフの専門性の向上につなげている。	法人外研修参加も積極的に進めていく。		
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		そのように進めている。	ICTも使い公表や周知、意見交換を深めていく。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		各児童と半年に一回のモニタリングの際に保護者懇談を行い、日々の支援で様子を確認し、本人の思いを確認しながら支援計画を進めている。	客観的に分析する為、チームでの意見交換をしている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		そのように進めている。	客観的に分析する為、チームでの意見交換をしている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		そのように進めている。	客観的に分析する為、チームでの意見交換をしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		そのように進めている。	五領域の学習会を強め、観察能力を高めていく。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		そのように進めている。	様々なフェースに合わせて、他部署とも意見交換を行い支援設定を行っていく。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		チームの意見をもらい立案している。	客観的に分析する為、チームでの意見交換をしている。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		月2回検討会議をもっている。	参加している子どもたちの様子を見てプログラムを改善していく。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		月2回検討会議をもっている。	両方の様子を適切に支援に反映できるよう、五領域の学習会を強め、観察能力を高めている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		充分ではない。	支援前ミーティングを改善していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		充分ではない。	支援後情報共有を改善していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		記録を徹底している。	記録の検証の改善を分析していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		行っている。	客観的に分析する為、チームでの意見交換をしている。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児発管が参画している。	次年度も参画していく。
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		医療は重要事項説明書に明記している。その他は明記したものはない。	情報共有の在り方を検討していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		保育所等訪問支援員や相談支援員と連携している。	情報共有の在り方を検討していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		保育所等訪問支援員や相談支援員と連携している。	情報共有の在り方を検討していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	<input type="radio"/>		研修会や意見交換会を実施している。	次年度も実施する。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	<input type="radio"/>		参加させている。	外部講師を招いてシリーズでの研修会も開催し理解を深める。
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		参加している。	次年度も参加する。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		少ない	行事などで交流することから始める。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		送迎や電話等で都度連絡をしている。	ICTも用い情報共有を行っていく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		職員だけでなく保護者と研修会を行う機会をもった。	外部事業所も参加できる研修会や意見交換会を実施している。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		契約時や変更時に説明している。	ICTも用い情報共有を行っていく。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		管理的にならないようスタッフ間で意見交換をしている。	五領域の学習会を強め、観察能力を高めている。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	S-Veranda
------	-----------

公表日 令和8年3月3日

利用児童数 2026年3月1日現在

回収数 7

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7					建物内だけでなく、今後は屋外での活動をより多く取り入れていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4			3		お知らせ等で職員全体の紹介を行います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7					必要時、玄関にスロープ等、準備します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	1				定期的に換気を行います。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	1				より専門性を上げる研修等を行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					個別支援計画に基づいた支援プログラムを実施していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					支援計画作成には多くのスタッフに意見をもらい作成しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	1		1		支援計画作成には多くのスタッフに意見をもらい作成しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	1				作成するだけでなく、周知を強め、より計画に沿った支援を心がけます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1				月2回会議を行い、検討をしています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			1	1	5	現状、多くはないので、意欲的に心がけます。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6		1			ICTを活用し、より保護者が確認しやすいよう改善していきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					ICTを活用し、より保護者が確認しやすいよう改善していきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1			家族の参加できる7保護者間の集まりが定期的にありとても助かる。	保護者との意見交換会を毎月開催しています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5	1		1		保護者との意見交換会を毎月開催しています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					保護者との意見交換会を毎月開催しています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					保護者との意見交換会を毎月開催しています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1				保護者との意見交換会を毎月開催しています。お子さんや兄弟が参加できる会や行事もあります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7				お知らせで紹介を行います。対応の周知説明の周知方法は改善していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	2		利用日ごとにその日の様子の連絡がほしい。	意見が通りやすいよう保護者の集まりを積極的に行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	1		1	HPだけでなく、ICTを活用し、より保護者が確認しやすいよう改善していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	1		2	携帯での写真の取り扱いを厳格化していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5			2	お知らせにて周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			4	訓練をより充実していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	2		1	よりよい支援、対応を心がけます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	2		1	よりよい支援、対応を心がけます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6	1			行きしぶりがある。 よりよい支援、対応を心がけます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	1			行きしぶりがある。 よりよい支援、対応を心がけます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				よりよい支援、対応を心がけます。